

解答例

適性検査Ⅰ

1 100点

〔問題1〕 20点

文章1

自分の気持ちを保つという効果。

文章2

わずかなくふうでうまくいくことに気づくという効果。

〔問題2〕 20点

あのきれ ～ ように。

〔問題3〕 60点

(省略)

解答例

適性検査Ⅱ

1 40点

〔問題1〕 20点

〔^{たろう}太郎さんの作業〕

かく → 切る → 切る → 切る → 切る → 切る → 切る

〔花子さんの作業〕

かく → かく → かく → かく → かく

〔^{まい}6枚のマグネットシートを切り終えるのにかかる時間〕 (40)分

〔問題2〕 20点

〔 得点板の数字を456から987にするのにかかる最短の時間 〕 (16) 秒	
〔 4 〕 → 〔 6 〕	一の位と百の位のボードを入れかえる。
〔 6 〕 → 〔 9 〕	6のボードを180度回す。
〔 5 〕 → 〔 8 〕	5にマグネットを2個つける。
〔 4 〕 → 〔 7 〕	4にマグネットを1個つけて2個取る。
〔 〕 → 〔 〕	

2 30点

〔問題1〕 15点

(選んだ一つを○で囲みなさい。)

AからC

AからD

航空機と鉄道の利用わり合は、AからBはほぼ同じであるのに対して、AからCは航空機の方が高い。その理由としては、AからCの航空機と鉄道の料金は、ほぼ変わらないが、航空機の所要時間が約半分だからと考えられる。

〔問題2〕 15点

〔「ふれあいタクシー」の取り組みが必要になった理由〕

人口が減少し、路線バスの本数が減少したE町が、移動することにこまっている人を対象とした交通手だんを用意するため。

〔「ふれあいタクシー」導入の効果〕

75さい以上の人の多くが、利用者証を得て、「ふれあいタクシー」を利用して買い物や病院へ行くことができるようになった。

3 30点

〔問題1〕 12点

750gの金属をのせて調べたときも1000gの金属をのせて調べたときも、おもりの数は手順6の板のときが最大であった。そして、手順6の板のみぞの方向に対して糸の引く方向はすい直であり、キャップのみぞの方向に対して手で回す方向もすい直であるから。

〔問題2〕 18点

〔組み合わせ〕 2号と5号

〔理由〕 実験2では同じでなかった条件のうち実験3では同じにした条件は、重さである。1号と3号のすべり下りる時間が同じなのに、1号と6号のすべり下りる時間は同じではなかった。だから、すべり下りる時間が同じになるのは、一番下の板の素材が同じ場合だと考えられるから。

解答例

適性検査Ⅲ

1 55点

〔問題1〕20点

①	7	②	6	③	12	④	10
---	---	---	---	---	----	---	----

〔問題2〕20点

混んでいたシート B

部屋1, 2ともに同じ面積なので、シートの大きさを求めてから比べる。

シートAの面積は、 $3 \times 3 \times 3.14 = 28.26$ つまり 28.26 m^2 となる。

シートBの面積は $6 \times 4 = 24$ つまり 24 m^2 となる。

ここで、シートにすわっていた人について、一人あたりのシートの面積を求める。

シートAでは $28.26 \div 24 = 1.1775$

つまり一人あたりのシートの面積は小数第三位を四しや五入して約 1.18 m^2 となる。

シートBでは $24 \div 21 = 1.14285\dots$

つまり一人あたりのシートの面積は小数第三位を四しや五入して約 1.14 m^2 となる。

したがって、シートBの方が、一人あたりのシートの面積が小さいことが分かる。
よって、混んでいたシートはBである。

〔問題 3〕 15 点

昨年度の 1・2 年生の合計の人数は $40 \times 8 = 320$ つまり 320 人となる。

今年度の 1・2 年生の合計の人数は $40 \times 9 = 360$ つまり 360 人となる。

昨年度の 1・2 年生の参加者は 216 人なので、昨年度の 1・2 年生の合計の人数に対する昨年度の参加者のわり合を求めると、

$$216 \div 320 \times 100 = 67.5 \quad \text{つまり } 67.5\% \text{ となる。}$$

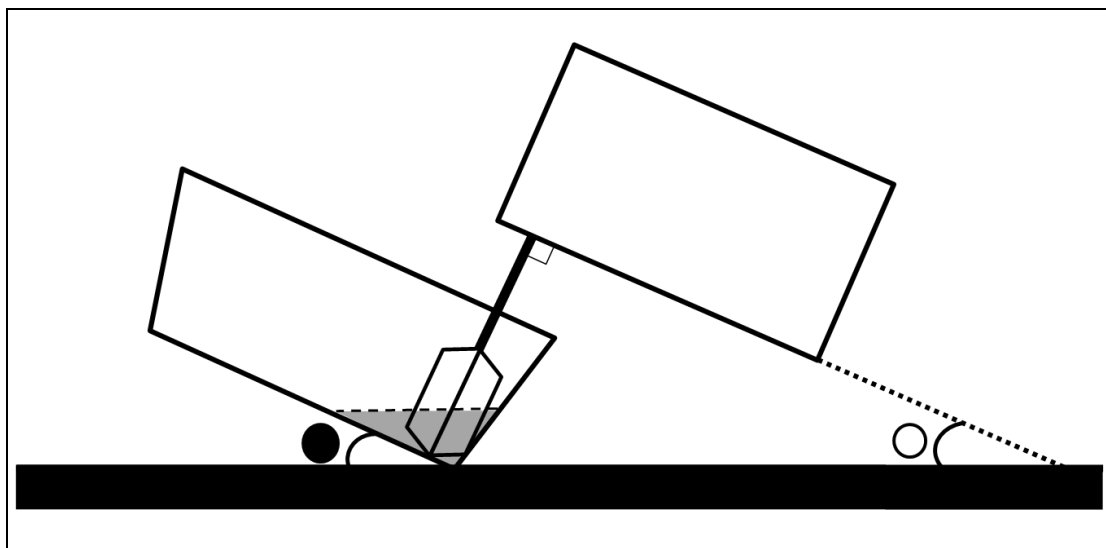
今年度の 1・2 年生の合計の人数は 360 人なので、今年度は 360 人の 67.5% をこえる参加者数を目標とする。

$$360 \times 0.675 = 243$$

つまり、243 人をこえればよい。

2 45点

〔問題1〕 15点



〔問題2〕 30点

